

高砂市人口ビジョン・ たかさご未来総合戦略

「夢工房たかさご」魅力ある元気なまちづくり

2015（平成27年度）～2019（平成31年度）

概要版



高 砂 市

平成27年9月

高砂市人口ビジョン 概要

1 人口の現状

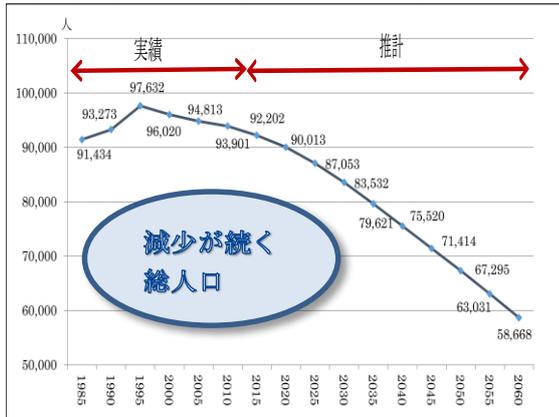
国勢調査における本市の人口は、1995年（平成7年）の97,632人をピークにその後減少が続いており、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の今後の人口推計によると、2040年（平成52年）には75,520人（2000年比23.7%減）、2060年（平成72年）には58,668人（2000年比40.7%減）になると予想されています。

こうした人口減少の要因と影響について、以下のことを認識しています。

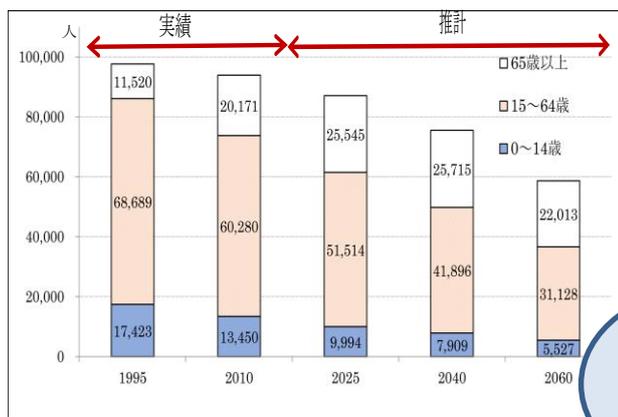
人口減少に関する本市の認識

- ✓ 社会減は近隣市町への転出超過が大きい。
- ✓ 女性の転入割合が低い。
- ✓ 自然減は、出生数の減少が影響している。
- ✓ 合計特殊出生率が全国、県平均より低い。
- ✓ 人口減少は、社会減と自然減の両方で進んでいる。
- ✓ このままの状態が続けば、人口は毎年、数百人単位で減少する。
- ✓ しかも、少子・高齢化がより一層進み、生産年齢人口も減少する。

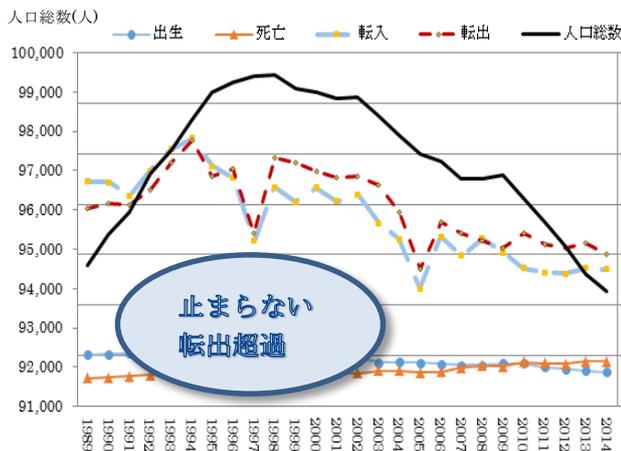
【高砂市の人口推移と今後の見通し】



【年齢3区分別人口の推移と今後の見通し】



【出生・死亡、転入・転出の推移】



【合計特殊出生率と出生数の推移】



2 人口の変化が将来に及ぼす影響

このままの人口減少の状態が続くと想定した場合、本市に以下のような影響を及ぼすことが予想されます。

1. 人口総数の減少により・・・

- ・地域の消費が減少し、地域の利便性が低下
- ・現状の人口に応じたインフラの更新が必要
- ・空き家・空き店舗が増加 等

3. 老年人口の割合の増加により・・・

- ・社会保障経費が増大し、個人の負担が増大
- ・後期高齢者の増加等により、介護人材が不足 等

2. 生産年齢人口の割合の減少により・・・

- ・労働力、生産性が低下、人材不足、技術の伝承が低下
- ・地域活動の担い手が減少、地域の活動力、文化の継承が低下
- ・税収が減少し、市民サービスが低下 等

4. 年少人口の減少により・・・

- ・学校等の統廃合が余儀なくされる
- ・さらなる少子化 等



このような影響を回避するために、人口減少の克服や人口構造の改善を行うとともに、人口減少社会に応じたまちづくりを進め、影響を最小限に抑える取組を行います。

3 めざすべき将来の方向

本市の地方創生の取組を行うための「めざすべき将来の方向」として、次の3つを設定し、総合戦略を策定するにあたっての基本的な視点とします。

視点1) いま 暮らしている人が幸福感をもてるまちづくり

今、暮らしている誰もが幸せな生活を送れるよう、安全で、安心な「住みよいまち」に

視点2) これから 来たい、住みたいと思えるまちづくり

これから暮らす人も、通勤・通学している人も、来訪した人も、訪れたい人も、魅力あるまちとして、「来たい、住みたいまち」に

視点3) ずっと 未来に夢がもてるまちづくり

今住んでいる人も、これから住む人も、これから生まれてくる人も、ずっと未来に希望をもてる「住み続けたいまち」に

- ・人口減少を克服するために、直ちにしなければならないことは、「転出を抑制」させること。
- ・少子・高齢化に対応し、生産年齢人口を増やすためには、若い世代を増やすことが必要で、若い世代が住みたい魅力的なまちづくりを行い、「転出の抑制」に加え、「転入を促進」させることが重要。
- ・希望する人が結婚や出産ができ、子育てしやすいまちであることが人口構造の若返りには大事。
- ・避けることができない人口減少社会や超高齢社会を前提とした基盤づくりも必要。

4 将来人口の展望

2060年（平成72年）に向けた、最初の総合戦略の期間である5年間では次の取組を行うことが必要です。

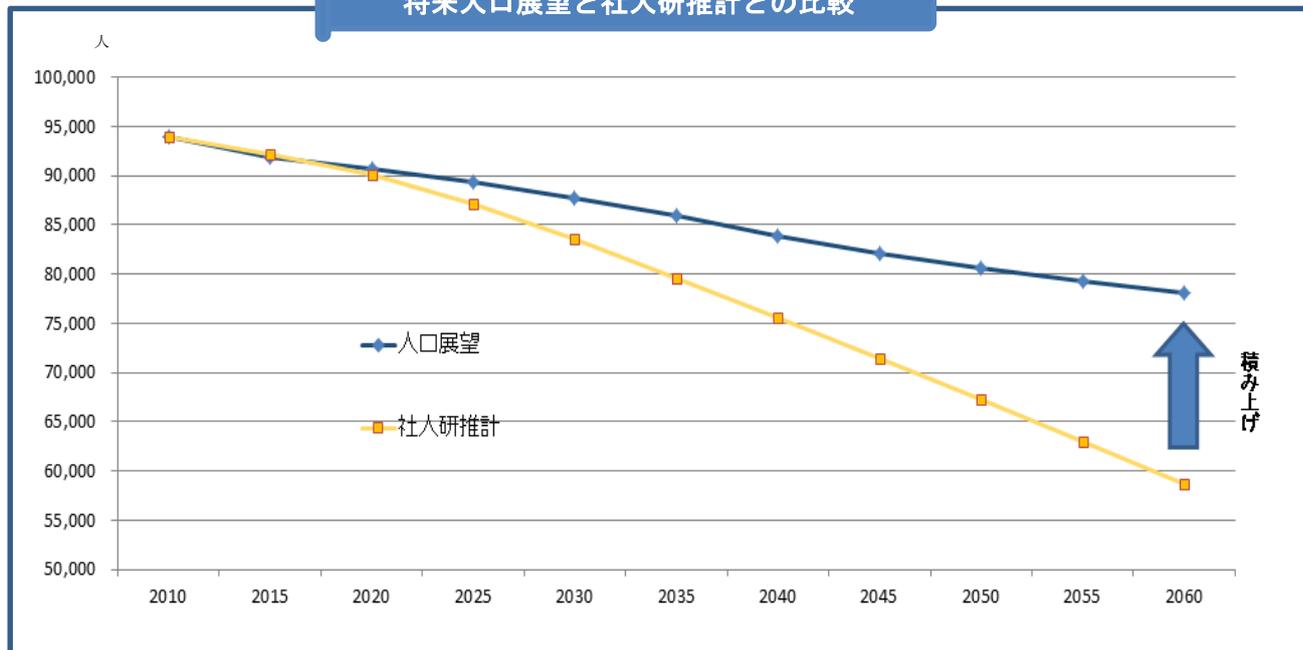
転出超過をゼロにすること。
 特に若い世代、中でも女性の定住を促進すること。
 合計特殊出生率、出生数の増加を促進すること。
 これらを行う基盤として産業を活性化し、雇用の場を増やすこと。
 全てを包含する住みよいまちづくりを行うこと。

- (1) 社会増減 2020年（平成32年）までに転出超過を0とする。
 2020年（平成32年）以降、5年間ごとに、男女とも100人～200人程度の転入超過をめざす。（子育て世代、若い世代の定住・移住を主とする。）
- (2) 自然増減 合計特殊出生率を国の長期ビジョンと同じ率とする。
 婚姻率の向上や晩婚化の解消、2人以上の子どもが持てる環境づくりを行うとともに、若い世代の人口増対策も行います。

以上の考え方により、社人研による推計結果に積み上げを行うことで、将来の人口を以下のとおりとします（人口は国勢調査ベース）。

2020年（平成32年） 人口 91,000人
2040年（平成52年） 人口 84,000人
2060年（平成72年） 人口 78,000人

将来人口展望と社人研推計との比較



たかさご未来総合戦略 概要

1 総合戦略策定の趣旨

たかさご未来総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、人口減少の克服に向けて、活力ある高砂市であり続けるための効果的な「まち・ひと・しごと創生（地方創生）」の施策を実行するために策定するものです。この総合戦略は、高砂市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）を踏まえ、今後5年間の基本目標、施策の基本的方向、具体的な施策と客観的な指標を定めます。

2 総合戦略の期間

2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）までの5年間とします。



3 総合戦略の政策目標と基本目標

多様な主体の活動の総和を「夢工房たかさご」と位置づけ、人口ビジョンの「めざすべき将来の方向」の3つの基本的な視点を踏まえながら、「魅力ある元気なまちづくり」を実現することを総合戦略の政策目標とします。

「夢工房たかさご」

魅力ある元気なまちづくり

夢工房たかさご…市に夢と希望を興し、市民の皆様の幸福感あふれるまちを実現させていくため、未来を創る新たな課題に正面から取り組み、確実に成果を残しながら、市の未来を興し、市の発展に寄与する取組を本市に関係する皆様とつながりながら行うこと。

この「夢工房たかさご 魅力ある元気なまちづくり」を実現するため、次の4つの基本目標を掲げ、具体的な施策を実行します。

- 基本目標1) 「ひと」の定着・還流・移住の流れを創ります。
- 基本目標2) 結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる環境を創ります。
- 基本目標3) 産業の振興を図り、「しごと」を創ります。
- 基本目標4) 将来にわたって元気な「まち」を創ります。

まず、「ひとの定着・還流・移住の流れを創る」ことで転出を抑制し転入の促進を図り、転出超過に歯止めをかけます。次に、「結婚・出産・子育てのきぼうをかなえる環境を創る」ことで出生率の上昇を図り、人口構造の若返りにつなげます。これらを行う基盤として、「産業の振興を図り、しごとを創る」とともに、人口減少時代にも対応できるように、「将来にわたって元気なまちを創り」ます。

4 総合戦略の施策展開

基本
目標 1

「ひと」の定着・還流・移住の

流れを創ります

大企業が立地する本市の特性を活かし、多くの企業従業員の方に高砂市に住んでもらうこと、また、就職や結婚などによって市外へ転出した人に「ふるさと高砂」に戻ってもらうこと、新たな住まいを探している方に住みよいまちとして本市が選ばれることなどの施策に取り組むとともに、市の内外へ高砂市のまちの魅力を発信することが必要です。

また、性別・年齢階層別の人口移動を見ると若者の移動が大きく、とりわけ若い女性が男性に比べて少ない人口構成となっていることから、女性から選ばれるまちとなる施策が重要です。

これらを総合的に実施することに併せて、誰もが高砂市で暮らすことに、より愛着と誇りを持てる施策を行うことが必要です。

めざす目標

指標名	実績値	目標値
	平成26年度 実績	平成31年度
転出超過者数	291人	0人

目標実現に向けた施策の方向性と具体的な施策

- 施策1-1 「たかさご」への定着を支援します
 - ・若者の定住 等
- 施策1-2 「たかさご」への、ひとの流れをつくります
 - ・移住希望者への情報提供と支援 等
- 施策1-3 ひと（女性）が輝くまちづくりを進めます
 - ・多様性が尊重される意識の醸成 等
- 施策1-4 ふるさと「たかさご」への愛着と誇りを育てます
 - ・市のイメージアップ 等

重要業績評価指標
(KPI)

20～39歳の転出超過者数、
県内での転出超過者数等

基本
目標 2

結婚・出産・子育ての

「きぼう」をかなえる環境を創ります

子どもは地域・社会の宝です。子どもを社会全体で育てる観点が重要であり、次代を担う子どもたちのために、地域資源を活かした教育環境の整備や医療・福祉の充実した子育てしやすい環境づくりに努めるとともに、子どもを育てるという幸福感、子どもの夢と子育てへの喜びを家族や地域で共有できるまちづくりが必要です。

また、若者が社会に参画し、自己実現を図りながら地域で活躍できる場づくりを進めるとともに、若い世代の流入につながるよう、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援など少子化・人口減少を克服する取組が必要です。

本市で育つ子どもたちが、安全で安心してのびのびと暮らせるまちづくりが重要となります。

めざす目標

指標名	実績値	目標値
	平成 20 年～24 年	平成 31 年度
合計特殊出生率	1.46	1.60

目標実現に向けた施策の方向性と具体的な施策

- 施策 2-1 子育てしやすい環境をつくります
 - ・ 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の促進等
- 施策 2-2 次代を担う子どもへの教育を充実します
 - ・ 教育環境の整備 等
- 施策 2-3 若者の夢をかなえる仕組みをつくります
 - ・ 若者施策の充実 等
- 施策 2-4 子どもたちの生き生きとした活動を応援します
 - ・ 子育ての拠点づくり 等

重要業績評価指標
(KPI)

男性の育児休業取得割合、保育所の待機児童数、婚姻率

基本
目標 3

産業の振興を図り、

「しごと」を創ります

国内有数の企業を含め多くの事業所に恵まれた立地環境を地元雇用に結びつけ、若者の定住を促進するとともに、多様な人材が活躍できる就労環境を整備することが必要です。

加えて、地域経済のさらなる振興を図るため、きめ細かな中小企業への支援を行うとともに、多様な事業分野での創業を支援することや新たな地域ブランドの開発、また、減少傾向にある第1次産業での地域資源を活用した6次産業化の推進に取り組む必要があります。

さらに、まちの魅力を発信することによって観光文化を交流人口の拡大につなげ、定住人口の増加を引き出すとともに、地域消費に結びつく仕組みを構築しなければなりません。

めざす目標

指標名	実績値	目標値
	平成22年度 実績	平成31年度
常住地による就業者数 (市内常住者が市内で従業)	20,439人	増
	平成25年度 実績	平成31年度
製造品出荷額等	9,731億円	1兆円



目標実現に向けた施策の方向性と具体的な施策

- 施策3-1 就労支援と地域の産業力を強化します
 - ・ 就労相談・就労支援の充実 等
- 施策3-2 新しい産業と雇用を生み出す地域イノベーションを推進します
 - ・ 創業（起業）支援 等
- 施策3-3 農業・水産業の活性化を支援します
 - ・ 環境・基盤の整備 等
- 施策3-4 観光力を強化します
 - ・ 地域資源の発掘と活用 等

重要業績評価指標 (KPI)	付加価値額（企業単位）、 地域ブランド商品開発数（累計）等
-------------------	----------------------------------

基本
目標 4

将来にわたって元気な 「まち」を創ります

本市の転出超過の状況を克服するためには、暮らしやすさを実感してもらい定住に結びつくようなまちの魅力を創出する必要があります。

市民の日常生活を支える都市機能の利便性と快適性の向上を図るとともに、生活圏の拡大に伴う市域を越えた様々な行政サービスを提供する広域行政施策の充実が必要となっています。

また、高齢者等の交通弱者の暮らしへの配慮や住み慣れた地域での暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築が求められるなど、都市の総合力をアップし、質の高い生活機能を創出することが必要です。

このようななか、現在の人口減少・超高齢社会の伸展のもとで、従来にまして都市機能を集約した集約型のまちづくりが求められているとともに、参画と協働、官民連携のもと地域資源や行政資源をより有効に活用していく必要があります。

めざす目標

指標名	実績値	目標値
	平成25年度 実績	平成31年度
「住みよい」と感じる人の割合	72.1%	85%
「住み続けたい」と感じる人の割合	68.8%	85%

目標実現に向けた施策の方向性と具体的な施策

- 施策4-1 暮らしやすいまちづくりを進めます
 - ・ 駅前再整備とコンパクトシティの検討 等
- 施策4-2 健康で安心して暮らせる地域づくりを進めます
 - ・ 治水対策の充実 等
- 施策4-3 行政経営の効率化と市民参画を推進します
 - ・ 新庁舎構想の推進と行政経営の効率化 等
- 施策4-4 広域での取組により課題解決を行います
 - ・ 兵庫県との連携 等

重要業績評価指標
(KPI)

鉄道乗客数、都市計画道路整備率、
生活排水処理率等

5 アクションプランの策定

総合戦略の施策の取組を行うための具体的な事業について、アクションプランを策定し、目標の達成効果を勘案しながら、重点的に取り組む事業を決定します。

アクションプランは、総合戦略の時期と合わせた5年間の事業と実施時期を示すものですが、市の喫緊の課題、国や県の動向や財源を判断し、毎年見直し（ローリング）します。

6 総合戦略の進行管理

総合戦略の進行管理については、P D C Aサイクルによって、その進捗の達成度や効果などを検証し、改善する仕組みを構築します。

この効果検証の客観性を担保するため、基本目標に数値目標、施策及びアクションプランに重要業績評価指標（K P I）を設定し、目標や施策等の効果を外部委員による検証機関である総合政策審議会（市民、団体、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディアなどで構成）において検証します。



高砂市人口ビジョン
たかさご未来総合戦略
(概要版)

平成27年(2015年)9月

発行 兵庫県高砂市